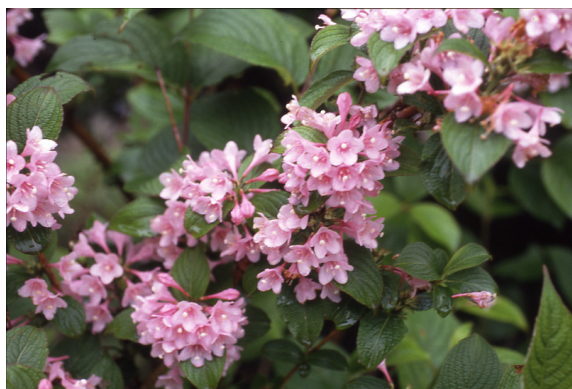


タニウツギ *Weigela hortensis* (スイカスラ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

高さ 2m程度の落葉の低木で、葉は5～10cm、先のやや尖った卵形をしています。

Ⅰ 生えている場所

北海道や本州に分布し、山地の林の縁や谷沿いに生えます。

Ⅰ 花のようす

冬に葉を落とす落葉の低木で、花の咲く時期は4～5月です。小さなピンク色の花をたくさん咲かせます。

参 考

名前は、「谷空木」で、谷に咲くウツギという意味ですが、本当のウツギはユキノシタ科の植物です。

タニギキョウ *Peracarpa carnea* var. *circaeoides* (キキョウ科)



撮影: 今井 建樹

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

地下茎は白色で細く、枝分かれして広がり、その先に柔らかい地上茎を出します。地上に出た茎は10cmほどの高さに立ち上がります。

Ⅰ 生えている場所

日本各地に広く分布し、山地の木陰や谷、沢など湿り気の多いところに生えます。

Ⅰ 花のようす

冬には、地下茎などで休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる多年草です。花の咲く時期は6～8月で、白色または薄い紫色の小さな花を咲かせます。

参 考

「国立・国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の中部山岳国立公園で、稀少種に選定されています。

名前は、谷間や日陰を好んで生えるキキョウの仲間であるところから名付けられました。

チョウジギク *Arnica montana* (キク科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

地下茎は這って、そこから高さ 20～85cm の茎をだします。葉は対生し、やや厚く、細長いです。

Ⅱ 生えている場所

本州、四国に分布し、深山の湿めった斜面に生えています。

Ⅲ 花のようす

冬には、地下茎などで休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる多年草です。花の咲く時期は8～10月で、黄色い小さな花を6～9個咲かせますが、花びらのようなものはありません。

参 考

「こくりつ 国立、こくていこうえん 国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の中部山岳国立公園で、きしょうしゆ 稀少種に選定されています。

名前は、花に長い柄が有って、この様子が香料や薬草に使う丁字(チョウジ)に似るので、名付けられました。

ハククラアザミ *Cirsium norikureense* (キク科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

高さ1～1.5m以上になる大型のアザミ類です。

Ⅱ 生えている場所

本州の中部地方の標高1000～1500mに分布し、山地の林の縁や林内などに生えます。

Ⅲ 花のようす

冬には、地下茎などで休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる多年草です。花の咲く時期は8～9月で、紅紫色の花が茎の先に横向きか下向きにつきます。

参 考

「こくりつ 国立、こくていこうえん 国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の中部山岳国立公園で、じゆんこゆうしゆ 準固有種に選定されています。

ツバメオモト *Clintonia udensis* (ユリ科)



撮影: 長井 眞隆

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

根元からでる葉は2～5枚ついて楕円形で、長さ 15～30cm、やや厚いが柔らかく、はじめは縁に軟毛がありますが、のちになくなります。

Ⅰ 生えている場所

北海道、本州の亜高山帯に分布します。亜高山帯の針葉樹林下などに生えています。

Ⅰ 花のようす

冬には、地下茎などで休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる多年草です。花の咲く時期は5～7月で、白いかわいらしい花を咲かせます。

参 考

山地に生えますが、個体数は比較的少ないです。

トウギボウシ *Hosta sieboldiana* (ユリ科)

(写真準備中)

生態情報

Ⅰ 大きさ、葉の形

葉は卵形または楕円形で、長さ30～40cm、ふつう緑色ですが、ときに白色を帯びるものがあります。

Ⅰ 生えている場所

北海道西南部から九州の草地や林の縁に生えています。

Ⅰ 花のようす

花の咲く時期は6～8月上旬です。花のつく茎は高さ50～100cmです。花は長さ4～5cmあり、白色または淡い紫色で、ときに淡い紅紫色を帯びます。

参 考

「国立、国定公園特別地域内指定植物図鑑－中部(山岳編)－」の中部山岳国立公園で稀少種として指定されています。

クモキリソウ *Liparis kumokiri* (ラン科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ 葉の形

花のつく茎は 15～25cm 程度で、2枚の長い^{だえんけい}楕円形の葉が^{ねもと}根元から出ます。葉の^{ふち}縁は細かく^{ちぢ}縮れ込んでいるのが特徴です。

Ⅰ 生えている場所

北海道、本州、四国、九州に分布し、^{さんち}山地の林内に生えます。

Ⅰ 花のようす

冬には、^{ちかけい}地下茎などで^{きゅうみん}休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる^{たねんそう}多年草です。花の^{じみ}咲く時期は6～8月で、地味な薄い緑色の花を数個咲かせます。

参 考

^{こくりつ}「国立、^{こくていこうえん}国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の^{ちゅうぶさんかく}中部山岳国立^{こくりつ}公園で、^{きしょうしゅ}稀少種に選定されています。

コケイラン *Oreorchis patens* (ラン科)



現地撮影

生態情報

Ⅰ 大きさ 葉の形

花のつく茎は20～30cm程度で、2枚の細い^{ねもと}葉が根元から出ます。

Ⅰ 生えている場所

北海道、本州、四国、九州に分布し、^{さんち}山地の林内や^{けいりゅう}溪流沿いのやや湿ったところに生えます。

Ⅰ 花のようす

冬には、^{ちかけい}地下茎などで^{きゅうみん}休眠し枯れず、翌年にも花を咲かせる^{たねんそう}多年草です。花の^{じみ}咲く時期は6～8月で、地味な薄い緑色の花を数個咲かせます。

参 考

^{こくりつ}「国立、^{こくていこうえん}国定公園特別地域内指定植物図鑑—中部(山岳編)—」の^{ちゅうぶさんかく}中部山岳国立^{こくりつ}公園で、^{きしょうしゅ}稀少種に選定されています。

葉の形がササの葉に似ていることから、「ササエビネ」と呼ばれることもあります。